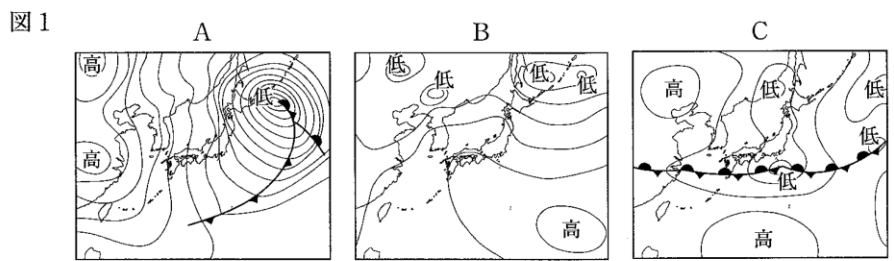


4 図1のA～Cは、日本である季節に見られる特徴的な天気図である。また、あとの文は、図1のA～Cの時期の気象の特徴について説明したものである。これについて、あとの問いに答えなさい。



A 冷たく乾燥した気団Xが発達し、この季節に特徴的な a の気圧配置になることで、日本へ季節風がふく。

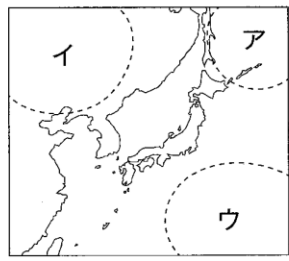
B あたたく湿った気団Yの勢力が強くなり、日本付近の広範囲をおおう。

C 気団Yと冷たく湿った気団Zがぶつかり合い、b 前線が発生する。この前線付近では、長期間雨が降り続くことが多い。

(1) 図1のA～Cは、それぞれどの季節のものか。その組み合わせとして、最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア A…春 B…梅雨 C…冬 イ A…夏 B…秋 C…春
- ウ A…冬 B…夏 C…梅雨 エ A…春 B…夏 C…冬
- オ A…夏 B…秋 C…梅雨 カ A…冬 B…梅雨 C…夏

(2) 図2は、日本周辺の3つの気団を模式的に表したものである。図2文中の気団X～Zにあてはまるものを、図2のア～ウからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。



(3) 文中の a にあてはまる語句を、漢字4字で答えなさい。

(4) 図1のBの季節の特徴について説明したものとして、最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 海洋上の方が大陸上よりも気温が高くなり、気圧が低くなるため、北西の季節風がふく。
- イ 海洋上の方が大陸上よりも気温が高くなり、気圧が低くなるため、南東の季節風がふく。
- ウ 大陸上の方が海洋上よりも気温が高くなり、気圧が低くなるため、北西の季節風がふく。
- エ 大陸上の方が海洋上よりも気温が高くなり、気圧が低くなるため、南東の季節風がふく。

(5) 文中の下線部bと同じ前線は、9月ごろの天気図にもよく見られるものである。このような前線を一般に何前線というか。名称を答えなさい。

- (2) 気団Xは、冷たく乾燥したシベリア気団(イ)、気団Yは、あたたく湿った小笠原気団(ウ)、気団Zは、冷たく湿ったオホーツク海気団(ア)である。
- (3) 冬はシベリア気団が発達し、西の気圧が高く東の気圧が低い、西高東低の気圧配置になる。このため、気圧の高い大陸側から気圧の低い海洋側へ、北西の季節風がふく。
- (4) 夏は小笠原気団が発達し、南の気圧が高く北の気圧が低い、南高北低の気圧配置になる。このため、気圧の高い海洋側から気圧の低い大陸側へ、南東の季節風がふく。
- (5) 6月ごろにできる停滞前線を梅雨前線、9月ごろにできる停滞前線を秋雨前線という。

(1)	ウ	16
(2)	X イ Y ウ Z ア	17
(3)	西 高 東 低	漢字4字指定
(4)	エ	19
(5)	停滞	前線